

重点品目 キャベツ

1 生産状況(農林水産統計)

	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 /H29	目標 (R5)
栽培面積(ha)	313	313	306	305	311	99.4%	350
生産量(t)	10,800	11,000	13,000	12,600	11,700	108.3%	14,000
産出額(億円)	11	8	9	10	9	81.8%	

2 現状

- [生産面] 県南部では春キャベツと冬キャベツ、県北部と高冷地では夏秋キャベツが生産され、ほぼ周年供給が可能である。また、加工・業務用が干拓地で企業参入により大規模に生産され、県中北部でも生産が拡大している。
- [販売面] 加工・業務用は寒玉系が求められる。
出荷は6月に集中しているため、周年供給体制に向けて実需者から特に8～9月の出荷拡大を求められている。
- [担い手] 新規就農者等を確保しているものの、産地の担い手は減少傾向にある。
収穫作業の補完労力として農作業受託組織との連携を進めている。
- [その他] 加工・業務用は、等級の簡略化、鉄コンテナの利用など、出荷作業の省力化と契約栽培による安定した取引ができる。

3 主要産地の面積 (R3(2021)年)

瀬戸内市(74ha)、岡山市(63ha)、真庭市(44ha)

4 振興方針

- ・加工・業務用の周年安定供給
- ・実需者ニーズに応じた品種選定、加工歩留まりを高める大玉化技術の確立
- ・水田利用による企業参入、集落営農への推進
- ・農作業受託組織との連携の推進

